



小峰だより

第212号

2月

小峰ふれあい自然郷(都立小峰公園)は、都立秋川丘陵自然公園のほぼ中央部に位置し、谷戸田、せせらぎ、桜尾根、雑木林で成り立ち、里山の景観を残す魅力的な公園です。その中心施設である小峰ビジターセンターは、秋川丘陵自然公園の中心的な活動拠点です。

発行者：小峰ビジターセンター

発行日：令和8年2月1日

いまむかし ～小峰公園と秋川谷の今昔物語～

すみやきのおきな

炭焼きの翁

～門前の小僧の技～



灼熱 800℃の窯と対峙

何年ぶりだろう。秋川谷の奥に住まう、竹取のおきなならぬ、炭焼きの翁を訪ねた。玄関の広いタタキに薪ストーブの炎が揺らめいている。

「半年前にな、この奥の山で、ナラ枯れの櫓の木、倒すときになあ。梯子掛けて登ったら、落ちちまって。それで肺に穴開いてな。救急車じゃなく、ヘリで運ばれてよお。ハハハ!」

そんな一大事を軽く笑い飛ばすお爺さんは、炭焼きの名手だ。生業にこそしてはいないが、いまでも秋川谷の自然公園で、昔ながらの白炭を焼いて見せている。「窯の中で、上手く焼くのは当たり前のコト。白炭は窯から出した後の技で、品質が決まる。焼き師の指名買いもあったくらいだ」

「昔、檜原じゃあ、7割くらいの農家が白炭を焼いてたよ。ウチの親父もその一人。わたしは門前の小僧習わぬナントカでよお。炭、焼けるようになったクチさ。黒炭と違って、白炭は真っ赤に燃えてる炭を窯から出す。そして土と灰の混ざった素灰をかけて、冷ますのは知ってるだろ。それなあ、下手がやると、素灰を厚く盛って、中が蒸し焼きになる。台無しだ。肝心なのは薄くかけること。炭同士の僅かな隙間にも流し込んでやることなんだよ。そうすりゃあ、均一に冷めて、硬く、上等な白炭になるのさ。知っときな」

御年85。炭焼きの翁はなお矍鑠として、確かに、そこにおりました。薄紫のたなびく谷に。

取材協力：檜原都民の森



秋川谷の炭焼きの流儀で一昼夜焼いた熱い炭を窯から出す。手早く素灰をかけて、急速冷却させると、硬質な白炭となる。名の知れた備長炭も同類のもの。秋川谷の白炭の原料はコナラが多く使われる。



素灰をかぶり、硬質な証し
炭表面に素灰の成分が固着し、白く粉を吹いたように見えることから白炭と呼ばれる。



火と共に生きて

火を操るは里山暮らしの基本。炭焼きの翁は、まだまだ炭を焼いていたいと笑っていた。

イベントのご案内

里山暮らし体験 ※要申込

里山の生きもの調査隊 ※要申込

「炭を焼す」^{おこ} ～七輪で焼き団子づくり～

2026年2月22日(日)9:40～14:00

“炭使い”は里山暮らしの定番。七輪と木炭を使って、昔ながらの焼き団子をつくってみよう!

会場:都立小峰公園
対象者:5歳以上
(小学生以下の参加には、保護者の同伴が必要です)
募集組数:5組
(応募多数の場合は抽選)
申込締切:
2026年2月14日(土)



トシボのヤゴ大調査!

2026年3月22日(日)10:00～12:00

谷戸田にコンテナ池を設置して3年目!今年はどうなトンボが見つかるでしょうか?調査員になって調べてみましょう。

会場:都立小峰公園、小峰公園ビジターセンター
対象者:小学生・中学生とその保護者
募集組数:8組
(応募多数の場合は抽選)
申込締切:
2026年3月12日(木)



※ 募集要件の詳細、申し込み方法などは、ホームページやチラシをご参照ください。

こんなことありました!

里山季節めぐり 【里山Originalリースづくり】 12月7日(日)

冬枯れ色に移りゆく小峰公園をぶらり歩き、木の実や落ち葉を手にして観察しました。森からちょっとだけお裾分けいただき、里山のリースをつくりました。



それぞれ個性が輝く作品
※公園スタッフの指導のもと、植物を採取しています。

【谷戸田の稲作2025】 12月20日(土) ●たき火、正月飾りづくり

泥と汗にまみれて自らの手で育て、実らせ、食した“超新米”美味しかったことでしょう。全9回の最終回は、稲ワラを使って“我が家のお正月飾り”をつくりました。



次のお米づくりが、間もなく・・・

お知らせ

～ ボランティアさんを募集します ～

令和8年度 都立小峰公園 ボランティア募集説明会

都立小峰公園で令和8年度に活動していただく、ボランティアスタッフを募集いたします。自然と人と関わることが好きな方のご参加をお待ちしております。

ボランティア登録には、説明会への出席が必要となります。詳しくはお問合わせください。

【スケジュール】

●説明会
3月8日(日)
10:00～12:30



小峰ビジターセンター

〒190-0152
東京都あきる野市留原284-1
TEL:042-595-0400

●開館 9:00～16:30
●休館日 月曜日(祝日の際はその翌日、ただし夏休み期間を除く)、年末年始



小峰公園HP



X(旧Twitter)

発行者:小峰ビジターセンター

指定管理者:



公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association